

## 「突然死」を未然に防ぐ 丹参製剤で血液をサラサラに

「未病」をなおす漢方療法

昔から「三寒四温」と言われるようにこの時期は気温の変化が特に激しい時期でもあります。そのためか体調不良を訴える方が多く、くも膜下出血や心筋梗塞などで「突然死」してしまうケースも目立ちます。近年、人間ドックでの検査を定期的に受診される方も増えておりますが、人間ドックでは全体的な検査はされませんが、各臓器にピントを合わせた検査はしていないのが現状です。また、早期の発見や治療が行われるようにはなりませんが、仮に血管のバイパス手術やバルーン治療などで一時的に急場をしのいだとしても、別の場所が詰まってしまっても元の木阿弥で、根本的な解決にはなっていません。突然死のように原因が身体の内部にあり、症状が水面下に潜り込んでいて、ある日突然症状が出るのと同時に死が訪れるといった形の病気には対応することが大変難しいのです。

漢方には「未病（みびょう）」という言葉があります。まだ、目に見えない状態では発病していませんが内部では着実にその準備が進んでおり、いつ発病してもおかしくない状態のことです。漢方療法ではこの未だに病んでいない状態をみつめて発病を未然に防ぐことも重視しています。脳梗塞や脳出血、狭心症、心筋梗塞を未然に防ぐのが丹参（タンシン）製剤です。心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患は、心臓を取り巻く動脈（冠状動脈）の血流が滞ったために心臓を形作る筋肉（心筋）に血液が行かなくなると起こる病気です。丹参製剤には血液をサラサラにする作用があるので、冠状動脈内の固まった血（血栓）を溶かし、血流の滞りを解消します。また、心臓の血管はもちろん、脳の血管や末梢の毛細血管まで血流の滞りに優れた効果があります。つまり急性期にも慢性期にも、そして予防にも効果を発揮することができるのです。

### 「お血（おけつ）」を改善

未病の一つに「お血」という考え方があります。一言でいうと血流の滞りのことです。「お血」のメカニズムを気と血の関係で説明します。血はそれ自身では流れることができません、気のエネルギーによって体内を巡っていると考えられています。「お血」がおきると身体はいろいろな警告信号を発します。「お血」の三大症状とは以下の通りです。

①痛む  
典型的な症状の一つは冠状動脈が詰まることによる狭心症や心筋梗塞の心臓がギュッと絞られるような痛み。

### ②しこる

子宮筋腫や卵巣嚢腫などコブ状態になる。皮膚の硬化・結節など。

### ③黒ずむ

黒ずみが舌や唇によく現れる。健康な人の舌はきれいなピンク色をしているが、「お血」があると全体的に暗紫色になったり、一部に紫色の斑点が出る。皮膚に黒ずみが出ることもある。

表だって目に見えない細かな病気の兆候も「お血」という形で身体のごとくに手がかりが現れます。現代医学の臨床検査では大きな動脈の異常なら数値として検出できますが、微小循環の異常まではなかなかとらえられません。それに対して「お血」のサインは病気が発生するまでの初期段階において診断と治療の指針となるものです。複数のサインが発見されるようなら「丹参」製剤を試してみたいかがででしょうか。

・イスクラ産業「冠元顆粒」  
九〇包入り（三〇日分）

一、六二〇円＋税



「冠元顆粒」についてののご相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

マイクロダイエット正規取扱店 **ゆがの薬局**



賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150  
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>